

「新テストの出題意図を踏まえて取り組むべき中高の授業改善」

千葉県立松戸向陽高等学校

大倉 泰裕

1. “共通テスト”の目玉といえる2つの改革がとられ中止となりましたが…

○ 大学入試英語成績提供システム運営大綱の廃止

○ 記述式解答の中止

でも何でこのような解答方式を導入しようとしたのでしょうか？

2 2018年PISA調査結果について

読解力調査の結果

- 日本の正答率が低い問題には、テキストから情報を探し出す問題、テキストの質と信憑性を評価する問題がある。
- 自由記述形式の問題では、自分の考えを他者に伝えるように根拠を示して説明することに、引き続き課題がある。
- 生徒質問紙調査から、読書を肯定的に捉える傾向があり、またこうした生徒ほど読解力の点数が高い傾向がある。

(国立教育政策研究所HPより抜粋)

○ 何でこんな結果になったのだろうか？現行学習指導要領が進めてきた“言語活動の充実”はどうしたのでしょうか？

3 生徒に身に付けさせたい力とは

○ 学力をどうとらえるのか

学校教育法第30条 ②

前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

○ 学習指導要領は今までの改訂の中で何を求めてきたのか

○ “新しい学力観”って知っていますか？

(1) 現行学習指導要領の考え方

今日、国際化、情報化、科学技術の進展など、社会の各方面で様々な変化が進んでおり、今後、それらはますます拡大し、加速化することが予想される。子どもたちは、そのような激しく変化する社会の中で生きていくことになる。

一方、教育や子どもたちの生活をめぐっては、知識の量を競うような教育に陥りがちであるといった指摘や、子どもたちの自然体験、家庭での生活体験などが不足し、豊かな心や生きるための知恵が身に付きにくいという指摘が聞かれる。

このような状況を考慮し、これからの学校教育においては、子ども一人一人がこれからの社会の中で、生涯にわたって、心豊かに主体的、創造的に生きていくことができる資質や能力を育成することが求められる。

(2) 新しい学力観に立つ学習指導の工夫改善

現行学習指導要領の趣旨を実現するためには、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などの資質や能力を重視する学力観に立って、学習指導の工夫改善を図ることが重要である。学校においては、子どもたち一人一人が自らのよさや可能性を発揮して様々な対象に進んでかかわり、自分の課題を見付け、主体的に考えたり、判断したり、表現したりして解決するような学習活動を積極的に展開し、それを適切に支援していくことが求められる。

各学校においては、このような考え方に立ち、個に応じた指導の充実、体験的な学習や問題解決的な学習の工夫、ティーム・ティーチングなど協力的な指導の推進等、学校の実態等に応じた種々の工夫改善が進められている。

(「我が国の文教施策」生涯学習社会の課題と展望 -進む多様化と高度化-H 8. 12)

○ 今までどのような指導をしてきましたか？ どんな指導が求められていると思いますか？

4. “共通テスト”が求めているものとは

— プレテストの問題の趣旨 —

高等学校学習指導要領において育成を目指す資質・能力に準拠し、知識の理解の質を問う問題や、思考力・判断力・表現力を発揮して解くことが求められる問題を重視して出題しています。

— 問題のイメージ —

- ・ 授業において生徒学習する場面を設定
- ・ 社会生活や日常生活の中から課題を発見し、解決方法を構想する場面の設定
- ・ 資料やデータ等をもとに考察する場面の設定

— 平成30年度プレテストの試行問題の趣旨 —

【地理(地理B)】

地理に関わる事象を多面的・多角的に考察する過程を重視します。事象の空間的な規則性を分析して地域性を捉えることや、地域の変容や構造について考え、地域の課題を理解し将来像について構想していくことが求められています。系統地理と地誌の両分野からのアプローチを意識した問題もあります。

【歴史(世界史B, 日本史B)】

歴史に関わる事象を多面的・多角的に考察する過程を重視します。用語に関する知識ではなく、事象の意味や意義、特色や相互の関連等に関する理解が求められます。教科書等で扱われていない初見の資料についても、そこから得られた情報と授業で学んだ知識を活用しながら、仮説を立てたり、歴史的事象の展開を考察したりすることができるかどうかを問う問題や、時代や地域によらず「歴史の見方」のようなテーマを設定した問題、時間軸を長くとった時代を貫く問題などを含みます。

【公民(現代社会)】

現代社会の課題や人間としての在り方生き方などについて多面的・多角的に考察する過程を重視します。文章や資料をしっかりと読み解きながら、重要な概念や理論等を活用して考察することが求められます。身近な社会的事象に重要な概念や理論等を適用して考察する問題や、各種の統計など多様な資料を読み解き、さまざまな立場から考察する問題などが含まれます。

【公民(倫理)】

人間としての在り方生き方に関わる倫理的諸課題について多面的・多角的に考察する過程を重視します。文章や資料をしっかりと読み解きながら、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして考察することが求められます。人間としての在り方生き方に関わる倫理的諸課題について、倫理的案見方や考え方を働かせて思考したり、避難的に吟味したりする問題や、原典資料や芸術作品など多様な資料を手掛かりとして、さまざまな立場から考察する問題などが含まれます。

【公民(政治・経済)】

現代における政治，経済，国際関係などについて多面的・多角的に考察する過程を重視します。現代における政治，経済，国際関係などの客観的な理解を基礎として，文章や資料をしっかりと読み解きながら，政治や経済の基本的な概念や理論等を活用して考察することが求められます。社会的事象に政治や経済の基本的な概念や理論等を適用して考察する問題や，各種の統計など多様な資料を読み解き，さまざまな立場から考察する問題などが含まれます。

共通テストが問いたい思考力・判断力・表現力(現代社会の場合)

- ・ 社会的事象を捉えるいくつかの「考え方」にも基づいて内容を考察し，関連性や社会的な意味を捉えることができる。
- ・ 概念や理論を活用し，制度や政策の本質や日常生活に見られる人々の行為の意味をとらえることができる。
- ・ 社会的事象等をとらえる概念や理論を活用し，他の社会的事象等をとらえることができる。
- ・ 社会的事象等をとらえる概念や理論を活用し，原因と結果の関連性について考察することができる。
- ・ 社会的事象を多面的・多角的に考察し，課題の解決に向けて，公正に判断することができる。
- ・ 様々な立場からの主張を，根拠に基づいて多面的・多角的に考察し，課題の解決に向けて，公正に判断することができる。
- ・ 社会的事象等を多面的・多角的に考察した過程や結果を，理由や根拠に基づいてまとめることができる。

5. まとめ